

若手研究者をとりまく評価に関する意識調査

世界的な競争、評価をめぐる問題、キャリアパスに関する課題など、若手研究者（ここでは、大学院生や若手の専門職の方も含む幅広い意味で使用します）をめぐる研究・知識生産の環境は多くの課題を抱えています。

この調査では、日本学術会議若手アカデミーとして、若手研究者にとっての評価をめぐる現状認識と理想像の乖離について分析することで、知識生産をめぐるより良いエコシステムの形成に寄与することを目的としています。

得られた結果は、学術的な分析を行った上で、報告書やオープンアクセス論文などの形で広く公開・議論します。そして報告やデータに基づいた提案を、政策担当者をはじめ広く社会に共有していくことで今後の研究エコシステムのあり方とそのための科学技術・学術政策を考察するために積極的に活用していきます。

ご回答いただいたデータについて、報告書では、「〇〇という回答が△△パーセント」というように統計数値にまとめます。また多様な方の検討や学術的利用の促進のためにデータを可能な限り公開します。その際、例えば地域に関わる情報は地域単位（関東、東北など）の形で提示にするなどして個人が特定されない形にいたします。そのため、回答者の方のお名前や個人的な情報が外部へ出ることはございません。また、データや結果を分析・研究・提案等、学術とそれに関連する活動以外の目的で使用することは決してありません。

以上の内容についてご確認の上、ご協力をいただけますようでしたら、ご回答をお願い申し上げます。アンケートへのご回答の送信をもって、ご協力の同意をいただいたものと判断させていただきます。また調査にご協力頂いた方でご希望される場合には、報告書の電子ファイルをお送りさせていただきます。

より良い研究・学術活動を可能にする環境構築に関わる知見獲得のため、可能な範囲で構いませんので、是非回答のご協力をお願いいたします。

本調査の対象：45歳未満の若手研究者の方々

回答に要する時間は10分程度となります。

※本調査では、「研究者」という言葉を、大学院生や若手の専門職の方も含む幅広い意味で使用します。

※なお、本調査は複数のネットワークの協力を得てメール配信を実施しております。お手元に繰り返し届く場合が考えられますが、お一人様一回の回答をお願いいたします。

※本調査は、公益財団法人日本学術協力財団原田弘二基金の協力の基に実施されています。

本件調査連絡先 25yaj-survery@googlegroups.com

本調査では、45歳未満の方を対象としています。

また本調査では、「研究者」を、知識生産活動に関わる大学院生や若手の専門職の方など幅広い職種を含む意味で使用します。

年齢（階層）について、お答えください。

- 1. ~24歳
- 2. 25~29歳
- 3. 30~34歳
- 4. 35~39歳
- 5. 40~44歳
- 6. 45歳以上

日常における時間配分

Q1 日常生活における時間の配分割合について、現在の平均的な日常と、理想のケースについてそれぞれお答えください。睡眠時間は除いた活動時間全体で合計がそれぞれ100%になるように回答をお願いします。

（半角数字でご記入ください）

	1.現在の時間割合	2.理想の時間割合
1.仕事に使う時間（研究・知識生産に関わる時間）	%	%
2.仕事に使う時間（上記以外）	%	%
3.プライベートの時間（睡眠時間は除く）	%	%
合計		

現在受けていると感じている評価のイメージと理想について

Q2.1 以下の項目に対して、就職・昇進などのキャリアパス構築において、あなたが最近受けた（あるいは受ける予定の）評価で感じる項目の重要度について、その予想をお答えください。※直感的なもので構いませんのでお答えください。

自分の研究・知識生産に関わる活動	7 (評価項目として重要度が高い)						1 (評価項目として重要度が低い)	0 わからない/ あてはまらない
1.調査、実験、論文執筆などの活動	7	6	5	4	3	2	1	0
2.治験や臨床試験など	7	6	5	4	3	2	1	0
3.産学連携に関わる活動	7	6	5	4	3	2	1	0
4.研究予算獲得実績、プロジェクトマネジメントなど	7	6	5	4	3	2	1	0
5.研究に関わるアウトリーチ活動	7	6	5	4	3	2	1	0
6.共同研究契約、新規事業開発などのためのネットワーキング	7	6	5	4	3	2	1	0
教育に関わる活動	7 (評価項目として重要視されている)						1 (評価において重要視されていない)	0 わからない/ あてはまらない
7.講義・実習、学生指導など	7	6	5	4	3	2	1	0
8.学生の学位論文／学術論文に関わる指導	7	6	5	4	3	2	1	0
9.公開・市民講座、研修生受入業務など	7	6	5	4	3	2	1	0
10.学務（入試業務、オープンキャンパス、教務、留学、その他）	7	6	5	4	3	2	1	0
社会的活動	7 (評価項目として重要視されている)						1 (評価において重要視されていない)	0 わからない/ あてはまらない
11.学会活動など（学会運営、査読、学会誌編集、年会等イベントの開催・参加）	7	6	5	4	3	2	1	0
12.社会連携に関わる専門業務（審議会等委員、地域連携活動、診療や治療、コンサルティング活動など）	7	6	5	4	3	2	1	0
13.それ以外 ※間違えて回答した場合は、「なし」と回答しお進みください。	7	6	5	4	3	2	1	0

Q2.2 以下の項目に対して、就職・昇進などのキャリアパス構築において、あなたにとって望ましいと思える評価の度合いについて、お答えください。

※直感的なもので構いませんのでお答えください。

自分の研究・知識生産に関わる活動	7 (評価項目として重要度が高い)						1 (評価項目として重要度が低い)	0 わからない/ あてはまらない
1.調査、実験、論文執筆などの活動	7	6	5	4	3	2	1	0
2.治験や臨床試験など	7	6	5	4	3	2	1	0
3.産学連携に関わる活動	7	6	5	4	3	2	1	0
4.研究予算獲得実績、プロジェクトマネジメントなど	7	6	5	4	3	2	1	0
5.研究に関わるアウトリーチ活動	7	6	5	4	3	2	1	0
6.共同研究契約、新規事業開発などのためのネットワーキング	7	6	5	4	3	2	1	0
教育に関わる活動	7 (評価項目として重要視されている)						1 (評価において重要視されていない)	0 わからない/ あてはまらない
7.講義・実習、学生指導など	7	6	5	4	3	2	1	0
8.学生の学位論文／学術論文に関わる指導	7	6	5	4	3	2	1	0
9.公開・市民講座、研修生受入業務など	7	6	5	4	3	2	1	0
10.学務（入試業務、オープンキャンパス、教務、留学、その他）	7	6	5	4	3	2	1	0
社会的活動	7 (評価項目として重要視されている)						1 (評価において重要視されていない)	0 わからない/ あてはまらない
11.学会活動など（学会運営、査読、学会誌編集、年会等イベントの開催・参加）	7	6	5	4	3	2	1	0
12.社会連携に関わる専門業務（審議会等委員、地域連携活動、診療や治療、コンサルティング活動など）	7	6	5	4	3	2	1	0
13.それ以外 ※間違えて回答した場合は、「なし」と回答しお進みください。	7	6	5	4	3	2	1	0

Q2.3 あなたにとって問題関心の高い評価は何ですか。最も関心のあるものを一つ選んでください。

- 1. 就職における評価
- 2. 昇進における評価
- 3. テニユアトラック審査
- 4. 論文に対するピアレビュー
- 5. 科研費など研究費採択に関わる審査
- 6. 同じ分野の研究者からの評判
- 7. その他

ご自身の知識生産活動に関連して重要だと思う要因(生活要因を除く)

Q3 あなたの知識生産活動に特に影響を与える可能性が高いと思う要因(生活要因を除きます)について、当てはまると思うものをいくつでもチェックしてください。

(いくつでも)

- 1. 研究意欲 2. 学術的意義 3. 個人の研究交流
- 4. 社会的ニーズへの貢献 5. 共用施設・設備 6. 外部研究費
- 7. 所属組織内研究費 8. 研究員の参加 9. 大学院生の参加
- 10. 専門職・技術スタッフによる支援 11. 研究時間
- 12. 研究奨励の雰囲気 13. 海外大学との協働 14. 事務支援
- 15. 所属機関の柔軟性 16. 所属組織内外・研究費獲得支援
- 17. 所属組織の中期的な戦略 18. 教員・研究者の多様性 19. 教育活動
- 20. 学生の多様性 21. スクールカウンセラーの配置 22. 入試の簡素化
- 23. 講義のオンライン化・オンデマンド化 24. 初等・中等教育機関との連携
- 25. 学問の自由・教授の自由 26. 給与・報酬 27. 昇進
- 28. 任期の有無 29. 異業種交流の場 30. 産学連携支援
- 31. 地域における仕事 32. アウトリーチ活動
- 33. メディア出演・取材協力による露出
- 34. SNS における発信への反応(フォロワー数、いいね数等) 35. その他

ご自身の知識生産活動に関連して重要だと思う生活要因

Q4 あなたの知識生産活動に特に影響を与える生活要因について、当てはまると思うものをいくつでもチェックしてください。

(いくつでも)

- 1. 経済的安定 2. 結婚 3. 出産・育児 4. パートナーの職場
- 5. 介護 6. 家事をこなす時間 7. 家族の応援 8. 地域におけるつながり
- 9. 居住地 10. 単身赴任の有無 11. リモートワーク環境
- 12. 信頼できる友人関係 13. 異業種交流の機会 14. 趣味
- 15. 睡眠 16. 子どもの学校へのアクセシビリティ
- 17. 学校以外の子どもに関わる施設等へのアクセシビリティ(学習塾、遊び場など)
- 18. 職場へのアクセシビリティ
- 19. ショッピングセンター等へのアクセシビリティ
- 20. 文化施設等へのアクセシビリティ
- 21. 地域のサービス等(文化施設等を除きます)へのアクセシビリティ(公民館など)
- 22. その他

回答者の方に関わる質問

回答者の方に関わる質問をさせていただきます。可能な範囲で構いませんのでご回答をお願いいたします。

Q 5.1 現在の所属セクターについて、当てはまるものにチェックを入れてください。

(いくつでも)

- 1. 大学等 (国内)
- 2. 大学等 (海外)
- 3. 公的研究機関 (国内)
- 4. 公的研究機関 (海外)
- 5. 民間企業 (国内)
- 6. 民間企業 (海外)
- 7. 行政機関
- 8. 国際機関
- 9. NPO・NGO (国内)
- 10. NPO・NGO (海外)
- 11. フリーランス
- 12. その他 ()

※大学等：大学，短期大学，高等専門学校，大学附置研究所，大学附置研究施設，大学共同利用機関法人及び独立行政法人国立高等専門学校機構

Q 5.2 現在の主たる職場の所在地についてお答えください。

()

Q 5.3 現在の主たる職務内容について、当てはまるのに一つチェックを入れてください。

- 1. 教育と研究の両方に従事している
- 2. 基本的に教育メインに従事している
- 3. 基本的に研究メインに従事している
- 4. 運営・管理をメインに従事している
- 5. 特定の専門業務（URA、コミュニケーター、国際支援など）に従事している
- 6. その他 ()

Q 5.4 現在の主たる業務のポジションについてお答えください。

- 1. 教授（あるいは公的研究機関等でそれに相当する職位）
- 2. 准教授（あるいは公的研究機関等でそれに相当する職位）
- 3. 講師・助教（あるいは公的研究機関等でそれに相当する職位）
- 4. 助手（あるいは公的研究機関等でそれに相当する職位）
- 5. 技術職員
- 6. 専門職（URA、コミュニケーター等）
- 7. 博士研究員
- 8. 事務担当職
- 9. 非常勤講師
- 10. 企業（管理職）
- 11. 企業（研究開発・研究企画）
- 12. 企業（営業、その他）
- 13. 大学院生（博士課程）
- 14. 大学院生（修士課程）
- 15. フリーランス
- 16. その他（ ）

Q 5.5 現在の任期の有無についてお答えください。

- 1. 任期なし
- 2. 任期あり（テニュアトラック制：無期転換あり）
- 3. 任期あり（期間固定：無期転換あり・任期更新可能性あり）
- 4. 任期あり（期間固定：無期転換なし・任期更新なし）

Q 5.6 現在、学生の論文指導への関与状況について、お答えください。

- 1. 大学院生の論文指導を行っている
- 2. 大学院生は担当していないが、卒業論文の指導を行っている
- 3. 学生の論文指導は行っていない

Q5.7 現在の専門分野について、一番近いとお考えのものを一つ選んでお答えください。

- 1. 人文学
- 2. 社会科学
- 3. 数物系科学
- 4. 化学
- 5. 工学系科学
- 6. 情報学
- 7. 生物系科学
- 8. 農学・環境学
- 9. 医歯薬学・看護学
- 10. その他 ()

Q5.8 今後のキャリアにおいて、ポジションを獲得したいと思う機関の種類についてお答えください。該当するものを一つ選び、チェックを入れてください。

- 1. 現在の勤務先に継続して所属したい（大学院生の場合は現在の所属大学）
- 2. 特にこだわりはない
- 3. 大学等（国内）
- 4. 大学等（海外）
- 5. 公的研究機関（国内）
- 6. 公的研究機関（海外）
- 7. 民間企業（国内）
- 8. 民間企業（海外）
- 9. 行政
- 10. 国際機関
- 11. NPO・NGO（国内外を問いません）
- 12. その他 ()

Q5.9 今後従事したいと思っている職務内容についてお答えください。該当するものを一つ選び、チェックを入れてください。

- 1. 教育と研究の両方に従事したい
- 2. 基本的に教育メインに従事したい
- 3. 基本的に研究メインに従事したい
- 4. 運営・管理をメインに従事したい
- 5. 特定の専門業務（URA、コミュニケーター、国際支援など）に従事したい
- 6. その他 ()

Q 5.10 これまでに採択された、あるいは参加経験のある研究プロジェクト資金がありましたら、お答えください。(いくつでも)

- 日本学術振興会特別研究員
- 科学研究費助成金 (科研費)
- 科学技術振興機構 (JST) の研究プロジェクト助成 (CREST、さきがけ、ERATO、RISTEX、創発的研究支援事業など)
- 日本医療研究開発機構 (AMED) の助成
- スーパーグローバル大学院創成支援事業
- 博士課程教育リーディングプログラム (リーディング大学院)
- 卓越大学院プログラム
- 21 世紀 COE プログラム
- グローバル COE プログラム
- 大学フェローシップ創設事業
- 次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING)
- ダイバーシティ支援関係 (女性研究者研究活動支援事業、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブなど)
- テニュアトラック制度 (国の補助事業のほか、大学独自の制度によるものも含む)
- 卓越研究員事業
- 厚生労働科学研究費
- 農林水産省による研究費助成
- その他の国による公的研究助成
- 地方自治体による公的研究助成
- 民間財団等による研究助成
- 大学等におけるリサーチアシスタント・ティーチングアシスタント
- 所属組織内研究費
- その他

Q 5.11 性別について、お答えください。

- 1. 女性
- 2. 男性
- 3. その他

Q 5.12 最終的な教育歴についてお答えください。

- 博士課程修了あるいは論文博士
- 博士課程満期退学・単位取得退学
- 大学院修士課程修了
- 4年制大学卒業
- 短期大学卒業
- 専門学校卒業
- 高校卒業
- その他（ ）

Q 5.13 博士号の取得状況についてお答えください。

- 1. 博士号取得から5年以上経過
- 2. 博士号取得から5年未満
- 3. 取得していない

Q 5.14 これまでに所属先の異動経験の有無についてお答えください。（大学院を含む）

- 1. 所属先機関が変わったことがある
- 2. 所属先機関が変わったことはない
- 3. その他（ ）

Q 5.15 これまでの職歴について当てはまるものをお答えください。（いくつでも）

- 1. 大学等（国内）
- 2. 大学等（海外）
- 3. 公的研究機関（国内）
- 4. 公的研究機関（海外）
- 5. 民間企業（国内）
- 6. 民間企業（海外）
- 7. 行政機関
- 8. 国際機関
- 9. NPO・NGO（国内）
- 10. NPO・NGO（海外）
- 11. フリーランス
- 12. その他（ ）

Q 5.16 お子さんの有無についてお答えください。

※キャリアパス設計に関わる関心事項として分析するための質問です。

- 1. 子どもがいる
- 2. 子どもがいない
- 3. 答えたくない

Q 5.17 介護の有無についてお答えください。

※キャリアパス設計に関わる関心事項として分析するための質問です。

- 1. 介護をしている
- 2. 介護をしていない
- 3. 答えたくない